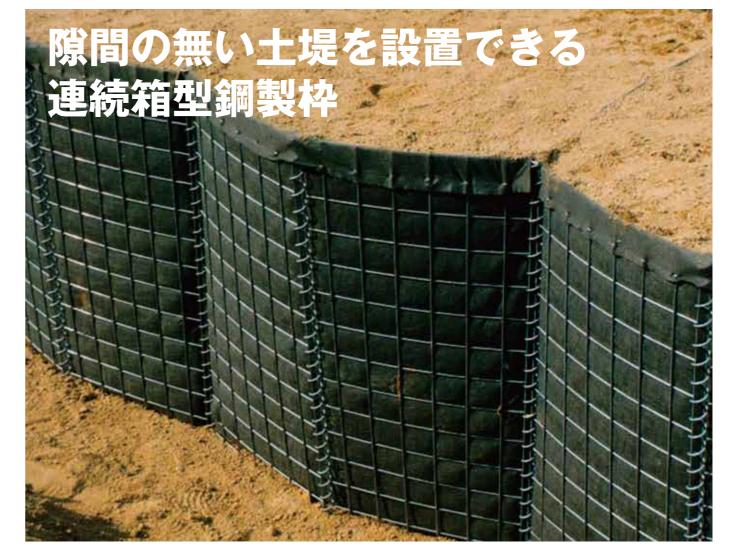
MAX WALL

マックスウォール



連続一体 高耐久性 簡単施工

Mak//ax 太陽工業株式会社

〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4 〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-33-16 〒061-1274 北広島市大曲工業団地 4-2-9 〒980-0022 仙台市青葉区五橋2-11-1

TEL:06-6306-3056 TEL:03-3714-3361 TEL:011-887-8350 TEL:022-227-1364

Mak//ax

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-8-11 〒732-0052 広島市東区光町1-12-16 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-15-19 TEL:092-411-8003 〒901-0152 那覇市字小禄662-5F

TEL:052-541-5118 TEL:082-261-1251 TEL:098-851-4423

www.taiyokogyo.co.jp

●一級建築士事務所 ●特定建設業者大臣許可(特-3)第381号 ●一般社団法人 日本膜構造協会正会員 ●一般社団法人 リバーテクノ研究会会員 ●一般社団法人 防衛施設学会会員 ●布製型枠協会会員



新技術情報提供システム N E T S 登録(掲載終了)

新技術名称:連続箱型鋼製枠「マックスウォール」 登録番号: KK-130035-A

連続した土堤を迅速に簡単に 設置できます。

マックスウォールは、長期間にわたる仮設工、

本設工のための仮設資材、災害時における本復旧までの

応急対策や、防災用備蓄資材として適用できる

連続した箱型鋼製枠です。

亜鉛メッキ鉄線を溶接したメッシュのカゴ(鋼製枠)を連結し、

カゴの内側に充填材こぼれ出し防止の不織布などを張った構造で、

簡単に展開・連結して現地発生土等を

充填設置することが可能です。

鋼製枠で構成されているため耐久性が高く、

長期間の仮設にもご使用いただけます。





耐久性が高い

亜鉛メッキ鉄線を溶接した鋼製枠は、海水飛沫地域で 5年程度、陸上・土中で10年以上の耐久性能があり、



漁港嵩上げ土留工(海岸で使用)



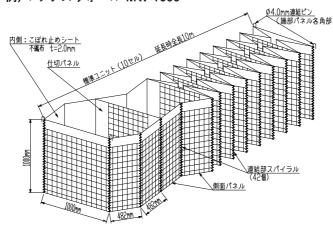
洪水に対応した仮締切護岸工



東日本大震災後 (2012.3 施工) から 3 年以上経過 (2015.5 時点)

製品概要

例)マックスウォール MW-1000



安定性が高い

鋼製枠が連結されているので、一体性が強く、 結束ベルト補強した大型土のうと比較して約 4倍*の荷重に耐える構造で、土堤や土留め壁 ※当社比較実験結果による

施工性が良い

組立済みで、現場荷下ろし後すぐに展開・充 填設置でき、分割・延長・屈曲や段積み施工 もできます。中詰材は、砂や砕石、現地発生土





人力ですぐに展開が可能

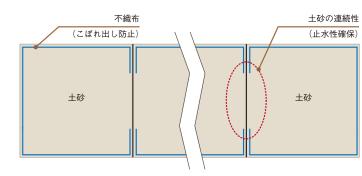


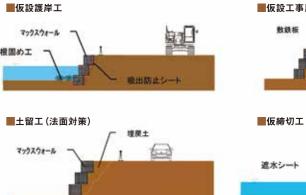
現地発生材を充填(再生材を使用)



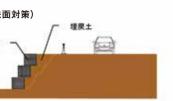
道路の曲線に沿って設置が可能

■平面概略図

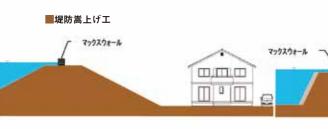






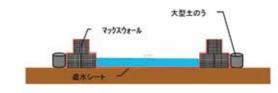


マックスウォール





■仮設導水路工



標準仕様

種類	高さ(m)	幅(m)	セル数	全長(m)	重量(kg)
MW-1350	1.35	1.0	10	10.0	約140
MW-1000	1.0	1.0	10	10.0	約110
MW-700	0.7	0.7	5	3.5	約30

※全長は展開時の概寸です